

JSPA岩手県支部総会



平成30年6月2日、岩手県支部総会が、奥州市衣川国民宿舎「サンホテル衣川荘」において、会員19名の参加で開催されました。衣川荘は、衣川を見下ろす高台にあり、遠くに東稲山、北上川を見ることが出来ます。また、衣川の対岸には世界遺産「中尊寺」のある丘を見ることが出来ました。

総会は、西館忍副会長の開会の言葉に始まり、遠藤正会長の挨拶の後、会場である衣川荘の三浦支配人よりご挨拶を頂きました。議長には、地元奥州市胆沢の安倍春雄さん

県支部総会 国民宿舎「サンホテル衣川荘」で総会 来年の総会は県央部で

が選出され、各議案が審議されました。千葉壽夫監事の監査報告をはじめ、事務局から前年度決算の報告、次年度の予算の説明がなされ、拍手で承認されました。その後、規約改正が承認され、役員改選がなされました。遠藤会長の勇退により青名畑幸彦さんが会長に、副会長には、葛西敏史が承認されました。詳しくは名簿をご覧ください。新役員の方々には、二年間よろしくお願いします。

その後、連絡報告事項として、衣川の机地さんより全国総会への準備状況を説明いただきました。机地さんには9月1日に開催される全国総会に向け、会場準備設定から観光、お土産の準備までお世話になっており、大変感謝申し上げます。これから、よろしく願います。総会は、江刺の高橋徹理事の閉会の挨拶で終了となりました。

総会終了後、ゆつくり入浴、18時30分から情報交換会を兼ねた懇親会が開催されました。青名畑新会長の挨拶の後、

水沢の佐藤清紀ドクターの乾杯の音頭により始まり、途中、新会員である、今年公パトに合格された、江刺の高橋幸司さんと新役員である盛岡の別部俊一さんより自己紹介を頂きました。また、情報提供として、岩手県連安全対策部の高畑信也委員長からの情勢報告を頂きました。今回は、二次会セットの企画になっており場所を変え夜遅くまで懇親を深めました。翌日は、バイキングでの朝食後、解散となりました。

来年の県支部総会は、6月8日、県央部での開催を予定しています。また、全国総会が、9月1日に奥州市衣川で開催されます。全国総会を盛り上げるために、また、地元開催のお手伝いとして、会員の皆様のご参加をお願いいたします。(報告・菅原 健)



PATO 岩手 協議会

No58号

事務局

〒029-4503

金ヶ崎町西根真析

152

日本スキーパトロール協議会

岩手県支部

http://www.geocities.jp/patokyoku_iwate/

公パト受験

山形県・赤倉温泉スキー場で開催

非常に厳しかった検定会

57期 富田 幸紀

スキーパトロールの勤務が非常勤から常勤に変わり、これを期に公認スキーパトロールの資格を取りたいと思っていたところ、今回、山形県赤倉温泉スキー場での検定、近隣であることから受験を決めました。



以前、網張会場での全日本スキーパトロール競技大会に参加した事もあり、ある程度、実技には自信があったものの一人引きでのアキヤボート操作、また、昨年、日本スキー教程安全編の改定により理論試験・ロープ操法が課題でした。事前講習では、実技・救急法・ロープ操法に関しては指導を頂いたものの、理論試験については「本人が頑張るしかない!!」

検定1日目 課題の理論試験・・・山が外れました。本番直前まで必死に覚えていた気象と雪崩の問題が出題されず、全問何かは書いたのので救って下さいと願うばかりでした。

検定2日目 実技テストスキー場は15cm程度の新雪で悪天候、スキー板の選択に迷っていました。

検定3日目 救急法・ロープ操法 前夜のバディーとの練習成果で三角巾は無事こなし、課題はロープ。「通しダブルエイトノット」を時間内に出来るかが課題でしたが、当日、時間が伸びたので気が緩んだのか最初の種目で端末の長さミス、その後は気を引き締めた結果・・・「合格」

検定会を振り返ると、同部屋2人が不合格だった事から思っていたよりも、今回は厳しかったようです。また、ブロック技術員の高畑さんが同行して頂いたのが心強く感じました。

難しい理論問題を解説してくれた同僚、ボート搬送・三角巾など練習に協力して頂いた職場の先輩方、恵まれた環境で練習させて頂きありがとうございました。

(報告・富田幸紀)

公認スキーパトロール

合格者(57期)

所	博幸	(北上市スキー協会)
高橋	幸司	(江刺スキー協会)
富田	幸紀	(胆沢スキー協会)